

ユニゾン Unison

No.38 令和6年6月発行

Unisonとは、音楽用語で一つの旋律を全部の音声で歌ったり演奏する意味から、すべての人が性にとらわれず、同じ立場で意見を主張できる社会の実現を願って名付けました。

★もくじ★

- 男女共同参画週間／女性消防・救急隊員ヘインタビュー—— ①
- アンコンシャス・バイアス／
埼玉県パートナーシップ宣誓制度連携協定—— ②
- 困難女性支援法／東部地域振興センター案内—— ③
- お知らせ・募集—— ④

編集・発行 八潮市企画財政部人権・男女共同参画課
〒340-8588 埼玉県八潮市中央1-2-1
Tel 048-996-2111(☎内811)
Fax 048-995-7367
URL <https://www.city.yashio.lg.jp/>



令和6年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

だれもがどれも選べる社会に

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

内閣府では、「男女ともに自らの個性と能力を最大限に発揮できる社会を実現していくためのキャッチフレーズ」を募集したところ、応募総数2,348点の応募があり、上記のキャッチフレーズが選ばれました。

この1週間が、皆さんの「男女共同参画」を考えるきっかけになることを願います。

市民を守る **赤** と **白** 命の現場の最前線で活躍する女性隊員に取材！



佐藤 天音 さん

八潮消防署消防第1課消防第2係(写真中央)



成田 知未 さん

八潮消防署消防第1課救急第1係(写真中央)

Q1 お二人の仕事内容を教えてください。

佐藤：火災・救助などの災害出動、救急支援での出動、その他、消防業務に関する事務です。

成田：普段は救急車に乗り救急業務を行っています。

Q2：今までで一番多く1日に出動した回数はどれくらいでしょうか？

佐藤：6件です。

成田：24時間勤務で12件出動したことがあります。

Q3：仕事で苦労したこと、大変なことはありますか？

佐藤：生理など女性特有の体調面での苦労はあります。ですがその都度配慮していただいているので、現場活動への不安はありません。

成田：狭い場所、急な階段などからの搬出は腕力、握力を使いますので、体力面での苦労はあります。ですが他の隊員と協力して活動をしています。

Q4：ズバリ、仕事のやりがいは何でしょうか？

佐藤：日々の訓練において知識や技術を身に付けることができたり、傷病者の方に安心したと言ってもらえることです。

成田：重症傷病者の状態を保ったまま病院へ搬送できた時です。また、安心したなどの言葉をもらえるとうれしく思います。

Q5：消防・救急を目指す未来の隊員たちへメッセージをお願いします！

佐藤：不安は多いと思いますが、体力や知識、技術は訓練を行えば身に付きます。まずは、消防に対する熱意と責任感が大事だと私は考えます。頑張ってください。

成田：男性のイメージが強い職場ではありますが、女性職員が活躍できる業務はたくさんあり、自分を高めることができる職場です。

——佐藤さん、成田さん、ありがとうございました。
お二人の今後のますますのご活躍を期待しています。